



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 富安 徳久
 (氏名) 辻 耕平
 TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	3,019	—	392	—	390	—	264	—
29年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 264百万円 (—%) 29年9月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	13.14	—
29年9月期第1四半期	—	—

(注) 平成29年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	11,031	6,405	58.1
29年9月期	10,990	6,221	56.6

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 6,405百万円 29年9月期 6,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,317	—	840	—	830	—	590	—	29.26
通期	12,270	8.1	1,275	7.1	1,260	6.3	840	4.9	41.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年9月期第2四半期(累計)連結業績予想の対前年同四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	20,167,200 株	29年9月期	20,167,200 株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	1,470 株	29年9月期	1,470 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	20,165,730 株	29年9月期1Q	20,165,730 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や経済対策に伴う公共投資の増加に加え、雇用や所得環境の改善を背景に底堅さを増す個人消費により、緩やかな拡大基調となりました。また、海外経済の成長を背景とした輸出の増加等により、今後も景気の拡大傾向は持続するものとみられておりますが、米国経済政策と国際市場に及ぼす影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営会館として名古屋市内に「ティア下之一色」を開設し、これにより直営52店舗、フランチャイズ43店舗の合計95店舗となりました。売上原価におきましては、取扱商品の見直しや葬儀付帯業務の内製化を推進し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、積極的な販売促進の実施に伴う広告宣伝費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は30億19百万円となり、営業利益は3億92百万円、経常利益では3億90百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店が堅調に推移したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比9.9%増加の2,493件となりました。葬儀単価におきましては、高額祭壇の販売数が伸び悩んだことにより、前年同期比3.8%減となり、この結果、売上高は29億23百万円、営業利益は5億82百万円となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ4店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が増加したのに加え、フランチャイズ会館向け物品販売も増加いたしました。また、ダイレクトメールやウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、この結果、売上高は96百万円、営業利益は21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は23億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が22百万円、その他流動資産が48百万円減少したものの、売掛金が88百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は86億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が8百万円、投資その他の資産が6百万円減少したものの、有形固定資産が23百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、110億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は22億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が1億45百万円、賞与引当金が61百万円減少したものの、短期借入金2億31百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は24億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億74百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、46億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は64億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億64百万円及び剰余金の配当80百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月9日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。連結業績予想の前提条件としましては、葬祭事業は既存会館が堅調に推移する見通しなのに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、知名度の浸透を図る販売促進を積極的に行うと共に、中長期の出店を見据えた人材確保を推進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,758	1,736
売掛金	288	377
商品	47	51
貯蔵品	41	52
その他	211	163
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	2,341	2,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,260	5,302
土地	1,428	1,428
その他(純額)	545	526
有形固定資産合計	7,234	7,257
無形固定資産	151	142
投資その他の資産		
差入保証金	970	957
その他	292	298
投資その他の資産合計	1,263	1,256
固定資産合計	8,648	8,657
資産合計	10,990	11,031
負債の部		
流動負債		
買掛金	315	402
短期借入金	60	291
1年内返済予定の長期借入金	792	746
未払法人税等	250	105
賞与引当金	126	65
その他	648	608
流動負債合計	2,193	2,219
固定負債		
長期借入金	1,894	1,719
資産除去債務	349	357
その他	331	328
固定負債合計	2,575	2,405
負債合計	4,769	4,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,159	1,159
資本剰余金	793	793
利益剰余金	4,268	4,452
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,221	6,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	6,221	6,405
負債純資産合計	10,990	11,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,019
売上原価	1,836
売上総利益	1,183
販売費及び一般管理費	791
営業利益	392
営業外収益	
受取利息	1
受取保険金	3
広告料収入	2
その他	2
営業外収益合計	9
営業外費用	
支払利息	9
その他	2
営業外費用合計	11
経常利益	390
税金等調整前四半期純利益	390
法人税、住民税及び事業税	88
法人税等調整額	36
法人税等合計	125
四半期純利益	264
親会社株主に帰属する四半期純利益	264

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	264
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	264
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	264
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,923	96	3,019	—	3,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,923	96	3,019	—	3,019
セグメント利益	582	21	604	△211	392

(注)1. セグメント利益の調整額△211百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。